

表彰関係 Prizes

賞の種類：第14回日本物理学会論文賞（日本物理学会）

受賞件名：Unconventional Heavy-Fermion Superconductivity of a New Transuranium Compound NpPd_5Al_2

受賞日：平成21年3月29日

受賞者：芳賀芳範、松田達磨、立岩尚之、酒井宏典、山本悦嗣、中村彰夫ほか6名
(アクチノイド化合物磁性超伝導研究グループ)

プレス発表 Press Release

タイトル：「超重力場を用いた同位体分離法の実現のカギとなるロータを世界で初めて開発」

発表日：平成21年8月27日

担当者：小野正雄（極限環境場物質探索グループ）

※丸和電機株式会社 末吉正典らとの共同研究による成果。

基礎科学セミナー ASR Seminar

回	年月日	講演者	開催テーマ
362	H21.4.21	政池 明 (京都大学)	アメリカにおける高エネルギー物理の展望と国際交流
363	H21.4.21	熊谷健一 (北海道大学)	CeCoIn_5 の新奇超伝導相における磁気秩序
364	H21.4.16	Ismardo Bonalde (大阪大学)	Superconductivity of CePt_3Si without Inversion Symmetry: Analysis by Magnetic Penetration Depth
365	H21.4.16	Michael Smith (米国 オークリッジ国立研究所)	Probing Stellar Explosions with Radioactive Beams and Computer Simulations at ORNL
366	H21.4.16	Ismardo Bonalde (大阪大学)、 前田京剛 (東京大学)、 門野良典 (高エネルギー加速器研究機構)、 大石一城 (理化学研究所) ほか	Issues on Magnetic Penetration Depth Measurements in Superconductors
367	H21.5.27	仲野友英 (原子力機構 核融合研究開発部門)	核融合研究における原子・分子素過程に関わる研究ニーズ
368	H21.6.4	Mehran Mostafavi (フランス パリ南大学)	照射下の新しいウラン酸化機構
369	H21.6.17	富田成夫 (筑波大学) ほか	クラスターイオン・固体衝突研究の現状と展望
370	H21.7.6	堀田貴嗣 (首都大学)、 鈴木通人 (デンマーク ウプサラ大学)、 小無健司 (東北大学) ほか	第5回アクチノイド科学ネットワーク研究会 「アクチノイド化合物物性と第一原理計算」
371	H21.7.29	池上栄胤 (デンマーク ウプサラ大学)	Break-Even of Dense Nuclear Fusion Observed in Metallic Li-Liquids
372	H21.8.17	岩田順敬 (ドイツ 重イオン科学研究所)	重心系衝突エネルギー：数 MeV/A 領域での反応力学 - 荷電平衡とエキゾチック核の融合

外国人研究者招聘 Visiting Scientists

年月日	被招聘者	招聘目的
H21.4.15～4.17	Ismardo Bonalde (大阪大学)	重い電子系超伝導体及び関連物質について超伝導特性に関する議論および講演
H21.4.16～4.17	Michael S. Smith (米国 オークリッジ国立研究所)	原子核実験に関する最新の研究成果と天体核データの整備等に関する講演および原子核実験の研究に関する議論
H21.8.25～9.1	Andrey Andreev (ベルギー ルーバンカトリック大学)	核分裂研究に関する議論および研究打ち合わせ、タンデム加速器を用いた核分裂実験の見学
H21.8.24～9.4	Yulia Itkis (ロシア ドブナ合同原子核研究所)	核分裂等の実験データ収集プログラムに関する議論、タンデム加速器を用いた核分裂実験の見学
H21.8.24～9.4	Mikhailovich Eduard Kozulin (ロシア ドブナ合同原子核研究所)	核分裂中性子の測定法に関する議論及び今後の研究協力に関する打ち合わせ、タンデム加速器を用いた核分裂実験の見学

日本原子力研究開発機構先端基礎研究センター 国際シンポジウム

第9回先端基礎研究国際シンポジウム

陽電子、ミュオン、及び、その他のエキゾチック粒子ビームを用いた材料物性と原子/分子科学研究 ASR2009: Positron, Muon and other exotic particle beams for materials and atomic/molecular sciences

本センターでは、毎年、研究テーマの中から一つを選んで、「先端基礎研究センター国際シンポジウム」を開催しています。今年度は標記のテーマで、下記のとおり開催いたします。

日程：2009年11月10日(火)～12日(木)

会場：テクノ交流館リコッティ(茨城県那珂郡東海村船石川駅東3丁目1番1号)

概要：本シンポジウムでは、陽電子、ミュオン、及び、その他のエキゾチック粒子ビームを用いた基礎・応用研究の最新の成果と産業応用や研究施設の現状について、参加者による発表をもとにした討論を行います。本シンポジウムが、参加者にとって有用な情報交換の場となり、エキゾチック粒子ビームを用いた新たな研究シーズの発掘に繋がることを期待します。本シンポジウムは、国内外からの招待講演と一般講演(口頭・ポスター)により構成する予定です。

- トピックス：
- ・原子・分子科学
 - ・基礎物理・化学
 - ・強相関電子系
 - ・半導体、金属・合金、高分子
 - ・表面科学、ナノテクノロジー
 - ・生物・医学応用
 - ・産業応用
 - ・研究施設、ビーム開発、装置開発

プログラム等の詳細はホームページをご参照ください。

http://asrc.jaea.go.jp/asr_ja/co_p/ASR2009.htm

ASR2009 準備委員会

先端基礎研究センター

陽電子ビーム物性研究グループ

河裾厚男 TEL: 027-346-9331

アクチノイド化合物・磁性超伝導研究グループ

髭本 亘 TEL: 029-284-3873

FAX: 029-282-5927

Email: asr2009@jaea.go.jp

基礎科学ノート編集委員会 柴田 猛順(幹事) 金子 耕士 香西 直文 小浦 寛之 桜井 聡
佐藤 哲也 須貝 宏行 中川 美美子